

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ジュニアサポートあさがお					公表日	令和8年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	・児童の安全を見守るためにも、声をかけあいながら職員の配置に気を付けている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・あさがおの掲示物が少し多いと感じる。玄関スペースや宿題スペースを整理したい。 ・絵カードや掲示物を活用して情報伝達を行っている。	・掲示物を整理し、有効で適切な情報量になるよう努めてまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・毎日の掃除、定期的な大掃除で清潔な環境になるよう心掛けている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	・静かに集中できる環境づくりができていると思う。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・全体朝礼などで情報共有している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	・外部の方からの意見が職員に伝わっていない。	・現在、第三者機関・外部機関への評価依頼等は行っておりません。	
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・虐待防止委員会、感染症対策委員会により、研修の機会を設けている。また、外部の講師を招いての勉強会も行っている。			
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・支援会議にて、児発管以外の意見も共有することで、放課後等デイサービス計画の策定をおこなっている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1		・パートさんに共有されているかわからないこともある為、今後より改善して参ります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・LINEを通じて職員全員に伝達されている。	・周知のためのツール（グループライン）を用いて情報共有を行い、支援に繋げていきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	・高等部を卒業する児童があり、「移行支援」の実績ができたため、今後に活かしていきたい。	・「地域支援・地域連携」については、児童を取り巻く地域の社会資源の状況を踏まえながら、今後より改善して参ります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1			

は 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1		・定期的に新しいプログラム、遊びを検討し、取り入れていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	・朝礼にて役割分担を行っているが、その日の支援内容の打合せについては、より強化していきたい。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	2	3	・当日の振り返りをする時間を設けられないことがあれば、気づいたことがあればその際に情報共有している。 ・毎日打合せがあるわけではないが、気になったことなどはその日のうちに伝えるようにしている。	・必要に応じてミーティングの機会を設けていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	・情報共有などされているかわからない。	・担当者会議等の機会を通して行っています。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	5		書類や電話対応などで連携がとれている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		・卒業生の進路に関しては、担当者会議等の機会を通じて情報提供を行っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		・地域の発達支援センターとの連携を通して助言をいただくケースがあります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	交流の機会は少ない。	・保護者様からのニーズや状況に合った連携を検討していきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		・年に一度の協議会の講義への参加を行っています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		・児童のケースに合わせて、ペアレント・トレーニングの取り組みや意見交換、情報共有を行っています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		
	36	放課後等デイサービス提供を作成するには、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・保護者様との面談などで共有している。	
	37	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	1	・保護者様が集まって交流できる機会が年に1～2回設けられている。	
	40	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・日々の様子を動画や写真で保護者様に送り、発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	・わからない。 ・地域の方との交流が少ない。	・保護者様からのニーズや地域の状況に合わせた活動を検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		・定期的に訓練の実施、情報共有を行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		・必要に応じて関連する医療機関等との連携を図っていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・ヒヤリハットを活用してスタッフ同士で話し合うことができる。	・情報共有を強化していき、事故・ヒヤリハットの防止に努めて参ります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・虐待防止の研修はしっかりできていると思う。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1			